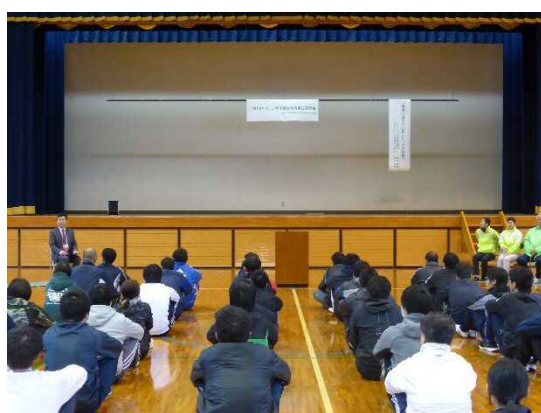


平成 29 年度ラジオ体操指導者実技講習会

子どもの体力については、運動する子どもとしない子どもの二極化の傾向が指摘されるとともに、昭和 60 年頃と比較すると依然低い水準となっている。ラジオ体操は、短時間で全身運動ができることや運動の基本的な動きがすべて組み込まれているなど健康の保持増進に効果の高い運動である。また、子どもが運動やスポーツに参加する機会をどのように作り出していくかが課題である現在、ラジオ体操は、夏期休業中やスポーツ行事へ参加した際に地域の人と一緒に取り組めることから、県教委としては学校でのラジオ体操指導を積極的に進めることとしている。

- 1 会場 久米南町民運動公園 体育館（平成 30 年 2 月 2 日）
- 2 参加者 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員
将来教職を目指す県内大学生等 計 40 名



県教委保健体育課副課長から挨拶

多くの先生等が熱心に研修を受けました。



講師	岡本 美佳 先生（NHKテレビ・ラジオ体操指導者） 清水 沙希 先生（NHKテレビ・ラジオ体操アシスタント）
----	---

講習会内容



模範となる動きを見せていただきながら、具体的な動きやどこを伸ばすのか、どこに効果があるのか等を示してくださいました。参加者からも正しい動きを分かりやすく教えていただき、勉強になったとの感想がたくさんありました。



☆参加者の声

- ・ラジオ体操の動きの意味を改めて考えることができました。
- ・部活動のウォーミングアップでも使えるので、積極的に取り入れていきたいです。
- ・体のどの部分を意識したら良いかを知ることができました。生徒にも伝えていきたいです。
- ・1つ1つの動きに意味があり、体育理論にも活用できると思いました。
- ・テレビでもご活躍されている講師の先生の動きを見ながら学ぶことができ、大変勉強になりました。
- ・自分ではラジオ体操を分かっていたつもりでしたが、気を付けるポイント等違う部分もあり、子ども達に指導する上で大変参考になりました。